

～啓発活動紹介～

○7月2日に淑徳大学3年生とワークショップを実施（さいたま市選挙管理委員会）

さいたま市選挙管理委員会では、若い世代の意見を取入れ、若い世代の有権者へ効果的にリーチするため、「政治・選挙への関心を高め持続する方法」をテーマとして、ワークショップを実施しました。当日は、同大学の矢尾板教授がコーディネーターを務め、6人程度のグループに分かれ、47名が参加しました。

まず、『政治に関し身近に感じる課題とその解決方法』について討議・発表を行いました。「政治と自分の暮らしとの関連がわからない」旨の意見が多く、解決策としては、「若者の目にとまる、SNSによる情報提供」が挙げられました。

次に、『心に刺さる啓発手法』について討議・発表を行いました。「投票行為へのインセンティブ」や、「インフルエンサーの活用」などの意見の他、「選挙啓発出前講座の拡充」という意見が最も多く出されました。

受講者からは、「政治について話す良い機会になった」「政治について興味を持って過ごしたい」など前向きな声を多くいただき、大変有意義な時間になりました。



～総務省からのお知らせ～

○令和7年度「主権者教育」優良事例普及推進事業の実施結果を公開中！

令和7年度に実施した「主権者教育」優良事例普及推進事業について、採択された事業の概要を総務省ホームページにて掲載しておりますので、取組のご参考にしてください。

今年度も引き続き、優良事例を募集しておりますので、お気軽にお問い合わせください。

- 採用団体
島根県美郷町
- 事業名
美郷町主権者教育プログラム
- 事業概要



他地域へ若者が流出してしまいう状況があり、将来的な町の担い手育成について課題があるため、小学生を対象に議場見学や議員との意見交換会を実施。
また、フィールドワークなどを通じて町や政治に親しみを持てるようなプログラムを作成。

【詳しくはこちら】 [総務省「主権者教育」優良事例普及推進事業](#)

主権者教育だよりの情報掲載について

主権者教育だよりでは、主権者教育や選挙啓発に関する総務省や各選管などの取組みを広く情報発信しています。自分たちの取組みやイベントを紹介してほしいという希望にも可能な限り、お応えしますので、ぜひご連絡ください。なお、配信は毎月月末を予定しています。

【問合せ先】総務省自治行政局選挙部管理課選挙啓発係 加藤・中村

～主権者教育アドバイザーの活動紹介～

○主権者教育アドバイザー 宗像優（九州産業大学地域共創学部教授）

令和8年7月13日（月）、岡山大学図書館公共共創オフィス主催の「講演会・学生との意見交換会」に参加しました。当日の参加者は、岡山大学の学生のほか、一般参加者（地方議員、自治体職員など）も含め30名ほどでした。

講演会「地方議会改革の挑戦と課題」では、地方議会改革の一環として制定が進んでいる議会基本条例を取り上げて、その制定の経緯と状況、地方議会改革の課題等について講演しました。そして、講演テーマに関して事前に学習していた岡山大学の学生と意見交換をした後、フロアも交えて質疑応答を行いました。

参加者の皆様からは、「地方議会改革の実情を詳しく知ることができた」、「議会基本条例に関して地域ごとの比較研究を行いたい」といった感想が寄せられました。

今後も、地方議会を題材にして、新しい主権者像のキーワードである「社会参加」を行い、「政治的リテラシー」を身につけることを提案していきたいと考えています。



～明るい選挙推進協会からのお知らせ～

○新有権者向けパンフレット作成中です。

協会では、毎年、新有権者となる高校3年生を対象に、政治や選挙への関心を持ってもらうことを目的としたパンフレットを作成し、全国の国公私立の高等学校に送付しています。今年度は、昨今の選挙を踏まえ、SNS上の情報の取り扱い方を含めるなど、内容・デザインとも一新する予定です。

全国の選挙管理委員会事務局へも送付しますので、ご参考にしていただければ幸いです。併せて協会WEBサイトにPDF版も掲載いたします。



↑今年度版の表紙

○明るい選挙啓発ポスター、描いてみませんか。

現在、全国の小・中・高校生を対象に、一票の大切さなどと呼び掛けるポスターの募集を行っています。児童、生徒への主権者教育の一環として、夏休みに取り組んでみてください。

各選挙管理委員会におかれましては、応募者への記念品として、協会で作成している、選挙のめいすいくんが描かれたクリアファイルや蛍光ペン、メモ帳などの啓発グッズをご検討いただければ幸いです。お求めやご不明な点は協会までご一報ください。



↑蛍光ペン

【問合せ先】（公財）明るい選挙推進協会Tel：03-6380-9891